

# 京都の土地改良



年頭のごあいさつ	会 長 野中 広務	2
国民文化祭で伝えよう、京都のこころ	京都府知事 山田 啓二	3
平成23年度農業農村整備事業予算概算決定される		4
平成23年度農業農村整備事業の予算確保を求める要望活動		5
「『食』と『地域』の再生に向けた農業農村整備予算の確保を求める集い」が開催される		6
「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2010		7
第33回全国土地改良大会 長崎大会開催される		8
平成22年度 21世紀土地改良区創造運動大賞を「水土里ネット京都大原」が受賞		10
水土里ネットによる会員支援事業の事例紹介		11
丹後森林農業体験教室		12
水土里フェスタ2010in京都駅ビル ～知りたいな京の森と水土里～		12
京都府農林水産フェスティバル2010		13
「農地と水と環境を守る子ども絵画コンクール」		13
土地改良区役職員等研修会		14
事務局だより		14

## ● 年頭のごあいさつ



水土里ネット京都  
(京都府土地改良事業団体連合会)

会長 野 中 広 務

平成23年の年頭にあたり、水土里ネット京都の会員をはじめ、関係の皆様にご挨拶を申し上げます。日頃は、本連合会の運営ならびに諸事業の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに心よりお礼を申し上げます。

昨年の我が国の社会・経済情勢を振り返りますと、4月に発生した宮崎県の口蹄疫や記録的な猛暑による農作物への被害とりわけ米の等級低下と価格の下落、更には年の瀬が迫るなか島根県で発生した高病原性鳥インフルエンザなど、農家の方々にとってたいへん厳しい年となりました。また、米国、EUの経済不振が長引き、輸出産業への円高圧力や厳しい雇用情勢など景気の足踏みが続く中、政府はTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加検討を表明され、識者の間でも賛否が二分されるなど、今後の動向に注視する必要があります。

一方、国際社会に目を向けますと地球温暖化防止に向けた気候変動枠組条約締約国会議では、2012年までの温室効果ガス削減目標を定めた京都議定書に続く新たな目標設定について、先進国と発展途上国等との駆け引きが続いており、一刻も早く新たな枠組みができることが期待されているところです。

このような諸情勢の中、水土里ネット京都は本年も会員の皆様とともに、先人の知恵と苦勞の結晶である農地や水利施設を子孫に確実に引き継いでいくことを使命に、地域農業の発展と農村の活性化のため、水・土・里を担う中核的存在として活動してまいりたいと考えております。

昨年は、農政が大きく転換し、米の戸別所得補償モデル対策が実施される一方、農業農村整備予算は前年度の40%を下回る大幅な削減となりました。

私は、農業は国の大本であり、農業農村整備事業が食料を生産し、農村地域を保全していく上で欠かせないものであることを強く訴え、予算の確保を求める活動を、全国の関係者と一緒になって進めるとともに、連合会としても、会員支援事業を拡充し、きめ細かな土地改良事業や土地改良施設の更新事業の推進を図ってきたところです。

また、昨年、水土里ネット京都大原の農業団体やNPOと連携した地域コミュニティ再生への運動が全国の模範として、21世紀土地改良区創造運動大賞を受賞されました。

水土里ネットの皆様方には、土地改良施設の維持管理や地域環境の保全にとどまらず、地域の活性化に向けた取組など、地域の中核団体としての役割への期待も高まっているところであります。

今後も連合会はこうした活動や事業の一層の充実を図り、会員の皆様と手を携えて、地域に貢献できるよう努めてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

新しい年を迎え、会員の皆様のご多幸と益々の隆盛をお祈り申し上げまして私の新年のご挨拶といたします。

結びに、皆様方のご多幸と益々の隆盛をお祈り申し上げまして私の新年のご挨拶といたします。

## ● 国民文化祭で伝えよう、京都のこころ



京都府知事 山田 啓二

府民の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年しんねんの春、多くの府民の皆様からご信託を賜り、府政のかじ取りを引き続き担わせていただくこととなりました。皆様からいただいた期待を胸に、全力を尽くして京都府政を推進してまいりますので、よろしく願いいたします。

振り返りますと、昨年は、国内外で大きな事件が起きる中、急速に進んだ円高などにより、厳しい経済・雇用情勢が続き、決して明るい年ではありませんでした。しかも、これから私たちは、経験したことの無い高齢社会や、中国の急速な発展などの国際化に直面していただくに、多くの皆様みなさんが日本はどうなるのだろうという、将来に対して漠然とした不安を覚えているのではないかと思います。

しかし、こうした時代だからこそ京都の価値が輝きます。京都府には素晴らしい人の力があります。伝統と文化の蓄積があります。力を合わせて難局に向かう「こころ」があります。どの地域にも負けないものを私たちは持っています。それだけに京都府の役割も重要です。時代や社会情勢の激しい変化に的確に対応し、京都の主役である府民の皆様がその力を十分に発揮できるよう、私たちは必要な環境を整えなくてはなりません。そのために、府政運営の基本となる条例や計画からなる「明日の京都」を昨年末に策定いたしました。ぜひ一度目を通してください。「明日の京都」を踏まえ「だれもがしあわせを実感できる希望の京都」の姿を府民の皆様と共有し、新しい時代に向かってともに歩んでいきたいと思っております。

そして「明日の京都」のスタートに当たる本年は、京都の力の源泉である「ほんまものの文化」をさらに高めるため「京都文化年」とし、10月の「第26回国民文化祭・京都2011」をメインにさまざまな催しを企画いたしました。「国民文化祭」・・・聞き慣れない言葉かもしれませんが、京都に全国から文化を愛する人たちが集まり、各地で交流しながら、日頃の成果や実力を披露する国内最大の文化祭典であり、音楽、舞踊、演劇、美術、文芸などの芸術から伝統文化や生活文化など本当に多くの催しが、期間中、府内各地で次々と繰り広げられます。

京都の国民文化祭のテーマは「こころを整える～文化発心はつしん」です。私たちはこの殺伐とした時代に、何よりも、こころを大切にする京都の文化が次の世代を担う若者に受け継がれていくことを願っています。そのためにも、まず大人が国民文化祭に関心を持って参加していただくことを心から願っています。

ぜひ新しい年を京都が、文化という先人たちによって培われてきた私たちの未来を示す「灯りあかり」によって、さらに輝ける年にしていきましょう。京都から全国へ、そして世界へ「京都のこころ」を発信し、希望の持てる「明日の京都」へとつなげていきましょう。

この一年の、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

## 平成23年度農業農村整備事業予算概算決定される

平成23年度政府予算案が決定され、農林水産省は平成23年度農林水産予算概算決定を公表しました。

農業農村整備事業公共予算は、戸別所得補償制度を下支えし、食料自給率の向上を目指すため、新たな「食料・農業・農村基本計画」に位置づけられた、①基幹的水利施設の戦略的な保全管理、②食料自給率の向上等に資する農業生産基盤整備の推進などの実現に向けた予算として、2,129億円（対前年比100.0%）が計上されました。

この中には、政策コンテストにより配分が決定された「元気な日本復活特別枠」として、戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業280億円が含まれています。

この他、新たに、農地・水保全管理支払交付金（旧農地・水・環境保全向上対策）に水路・農道等の補修・更新などの長寿命化対策47億円、戦略作物等の生産拡大のための排水条件の改良、老朽化施設の修繕等を行う戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業220億円がそれぞれ計上され、農業農村整備対策として、合計2,397億円（対前年比113%）となっています。

また、平成22年度に創設された農山漁村地域整備交付金は318億円（対前年比21.2%）で、一括交付金化としての「地域自主戦略交付金」（仮称・内閣府所管）への拠出額1,090億円を含めると1,408億円（対前年比93.9%）となっています。

なお、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金は183億円が計上されています。

平成23年度農業農村整備事業予算概算決定の概要

（単位：億円）

区 分	22年度 当初予算	23年度 要 求	23年度 提 示	対 22年度比
農林水産予算総額	24,517	24,875	(23,802) 22,712	(97.1%) 92.6%
公共事業費	6,563	6,752	(6,285) 5,194	(95.8%) 79.1%
農業農村整備	2,129	2,241	2,129	100.0%
戸別所得補償実施円滑化基盤整備	—	374	280	皆増
農山漁村地域整備交付金	1,500	1,500	(1,408) 318	(93.9%) 21.2%
非公共事業費	17,954	18,123	17,517	97.6%
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	246	204	183	74.6%
農地・水保全管理支払交付金（長寿命化対策分）	—	47	47	皆増
戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業	—	220	220	皆増

※上段（ ）書は、一括交付金（仮称：地域自主戦略交付金）への拠出額を含む額である。

# 平成23年度農業農村整備事業の 予算確保を求める要望活動

本会並びに京都府農業農村整備事業推進協議会（会長 藤原秀夫 本会副会長）は、平成23年度農業農村整備事業予算の確保を求め、11月から12月に亘り、国、京都府並びに関係国会議員等に要望活動を行いました。

平成22年度の国の農業農村整備事業予算は、前年度に比べ6割を超える大幅な削減となりました。一方、政府は3月30日に新たな食料・農業・農村基本計画を閣議決定し、食料自給率50%を目標に、農地の有効利用や生産力の強化を図ることとしています。

この基本計画を推進するためには、生産基盤である農地や水利施設の整備・保全が不可欠であり、農業農村の持続的発展に必要な施策として下記の事項が実行できる農業農村整備予算の確保を強く要望しました。

## 記

- 1 ほ場整備や水路整備などそれぞれの地域に見合った農業農村整備の一層の推進
- 2 「農と環境を守る地域協働活動」（農地・水・環境保全向上対策）の一層の推進並びに恒久的な施策の展開
- 3 優良・高品質で新鮮な野菜等を供給する都市農業を支える土地改良施設の整備・保全に対する支援
- 4 農業集落排水事業の計画的な推進と汚水処理施設等の更新に対する支援制度の拡充
- 5 安心安全な地域づくりに向けた農業集落全体の防災対策への取組強化、とりわけ全ての老朽ため池の防災・減災を核とした管理体制の構築
- 6 重要な農業生産基盤である井堰や農業用排水路、農道等の土地改良施設の保全・更新の一層の推進



山田京都府知事への要望（12月22日）



塚本近畿農政局長への要望（12月22日）

平成22年	11月11日	民主党京都府支部連合会長	山井和則氏
	11月24日	自由民主党京都府支部連合会長	二之湯智氏
	12月 2日	京都府関係 衆議院・参議院国会議員	
	12月22日	京都府知事	山田啓二氏
	12月22日	近畿農政局長	塚本和男氏

## 「食」と「地域」の再生に向けた農業農村整備予算の確保を求める集い」が開催される

平成22年12月2日、日本青年館中ホール（東京都新宿区）において、「食」と「地域」の再生に向けた農業農村整備予算の確保を求める集い」が開催されました。

これは、本年6月7日に開催された「食」と「地域」の再生に向けた農業農村整備事業予算の確保を求める集会」に引き続き、呼びかけ人の主催で開催されたもので、全国から400名を超える参加者があり、農業農村整備予算の確保に向け、熱気一杯の「集い」となりました。

6月の「集会」以降、「食料の生産基盤を未来に繋ぐ意見広告プロジェクト」による読売新聞への意見広告の実施に加え、今回の「集い」が開催されたものです。

「集い」では、呼びかけ人代表の挨拶の後、全土連野中会長が激励の挨拶に立ち、「農業農村は国の大本であり、農業農村が健全であってこそ国が成る。たとえ、座り込んででも皆さんと一緒にあって、長い歴史の中でこの国を支えてきた農業農村が必要とする予算の確保に向け努力する」との決意表明がありました。

また、各地域からの情勢報告の後、公表された平成23年度概算要求の満額確保に加え、農業農村整備事業予算について特別枠を含めた全体規模の大幅増、農業水利施設の適切な保全管理と計画的な更新・整備、水田汎用化に向けた排水対策などの農地の整備を国策として推進する要請書を全会一致で決議しました。

「集い」の閉会后、決議事項を要請文として、参加者代表が農林水産省、財務省、民主党へそれぞれ要請活動を行いました。



激励挨拶の野中会長

筒井農林水産副大臣への要請行動



# 「ふるさとの田んぼと水」 子ども絵画展2010

『「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2010』では、「ふるさとの田んぼと水を見つけよう!」をテーマに、全国の園児や小学生から総数10,075作品の応募があり、入賞18作品、入選106作品、団体賞69作品が決定しました。

本年度は、東京都品川区大崎の「品川区立O美術館」において授賞式が行われました。これら各賞作品の展示は、11月21日(日)から「品川区立O美術館ギャラリー」をはじめ、全国3ヶ所の施設で展示されます。

京都府内からは以下の作品3作品が入選となりました。受賞された皆様には心からお祝いを申し上げます。

## 入選作品



ザリガニさんぼしとって  
角谷 樹良 社会福祉法人倉柳福祉会 さくら保育園



大内神社  
永田 晴香 京都府亀岡市立吉野小学校



ぼくのふるさと  
松田 裕吾 京都府舞鶴市立余内小学校

# 第33回全国土地改良大会

## 長崎大会開催される



野中会長挨拶

平成22年10月26日（火）から10月28日（木）まで、全国土地改良事業団体連合会および長崎県土地改良事業団体連合会の主催により「第33回全国土地改良大会」が『伝えよう 水の音色 土の温もり 里の安らぎ 西端の風にのせて。』をテーマに、長崎県島原市「島原復興アリーナ」で全国各地から3,500名が参加（京都府からは93名参加）して盛大に開催されました。

まずオープニングセレモニーとしてこころの底から熱く湧き出る鼓動が響き渡る深江太鼓の演奏の後、大会式典では、一瀬長崎県土連副会長の開会宣言に始まりソプラノ歌手福地友子さんの透き通った高音での国歌斉唱のあと、宮本長崎県土連会長が開催県挨拶、野中全土連会長が主催者挨拶、中村長崎県知事と横田島原市長の歓迎のことば、松木農林水産大臣政務官の来賓挨拶のあと、土地改良事業功績者表彰が行われました。

京都府からは永年土地改良事業の推進に多大のご尽力をいただいた本会理事の汐見明男井手町長が農村振興局長表彰、与謝支部の太田貴美与謝野町長が全土連会長表彰を受けられました。

続いて、21世紀土地改良区創造運動大賞表彰では京都府で初めて水土里ネットワーク京都大原が「地域振興マイスター」として大賞を受賞されました。

続いて優良活動事例の紹介のあと、齋藤晴美農村振興局次長の基調報告として、大切な社会資本である農地や農業施設の重要性を示されました。

大会宣言は、長崎県立農業大学校の前田拓也さんと早崎美紀さんが力強く朗読し、「環境」と「資源」を将来にわたって保全、管理、維持していくため、国民と一体となって「水」「土」「里」を守り、育み、伝えていくと力強く訴え、



汐見明男氏



太田貴美氏

満場の拍手が寄せられました。続いて、次期開催県である宮城県の紹介、大会旗引継ぎ、次期開催県の挨拶のあと、北海土地改良区眞野理事長から平成22年度補正予算の早期手当、平成23年度予算における満額確保と全体規模の大幅増、農業水利施設の保安全管理と更新整備、水田の汎用化に向けた農地整備を国策として推進を求める緊急動議が提案され、会場の大きな拍手で決議とされ、閉会となりました。



水土里ネット京都大原の大賞受賞の様子

引き続き、アトラクションとして、島原さつき会による優雅な「舞踊」（長崎ぶらぶら節）、女性合唱団コール島原による素晴らしい「コーラス」（長崎の歌のメドレー）そして籠町龍保存会による賑やかなでリアルな龍体の「龍踊り」が行われました。

その後、本日の宿泊地である雲仙温泉において京都府の参加者全員により親睦を深めるため交流会を行いました。途中から野中会長も加わりいろいろな情報交換が行われ、大変厳しい状況である京都府内の農業農村整備事業の推進のため一層努力することを誓い合い盛会の内に終了しました。

翌日の事業視察は、各支部希望のコースに分かれ長崎県の土地改良施設を見ながら、風土・風景を満喫しました。

## 大会宣言

ここ長崎県は、数多くの島々と海、緑多い山々など、豊かな自然に恵まれています。また、大陸に近く、古き昔から諸外国との交流が盛んであり、特に江戸時代においては、日本でも唯一諸外国との交易が認められ、近代日本の礎となる様々な食文化が伝来しました。更に、船作の起源地であるとしており、西の地から伝播した船作が我が国の大地の恵みである豊富な水資源と出会って、私達の命を支える食料を千数百年にわたり安定的に供給してきました。

しかしながら、食料の供給源である農村地域は、農産物の貿易自由化や農産物価格の低迷、担い手の減少や高齢化、耕作放棄地の増加などにより、その機能を失いつつあります。

また、食料自給率は、一九六〇年代の八〇％から現在四〇％程度まで低下しており、多くを諸外国からの輸入に頼っています。

二十一世紀に入り、世界では人口増加、地球温暖化等の問題が叫ばれており、輸入に頼る食料多量化は多くの問題を招いていると多くの人々は気付いています。

地球規模での環境を維持していくためには、限りある資源を最大限活用していくことが必要だとわかってきました。

特に、我が国は豊富な「水資源」や「バイオマス資源」を有しているながら、今はそれらを有効に利用しているとはいえない状況です。

私達は、「食料の安心供給」「食の安心・安全」等、国民のニーズにあわせた農業の再構築を目指して、これらの資源を有効活用しつつ、食料自給率を向上させていかなければなりません。

また、農村地域の資源の活用は、国土保全、水源涵養、水質浄化などの多面的な機能の発揮にもつながっており、更新時期を迎えている農業水利施設等の資源を、国民共有の財産として今後も活用し、再生していくことが必要であります。

そのためには、農村地域の資源活用の担い手である水土里ネットが、その役割を十分に果たすことが重要であり、今一度総力を結集することが必要です。

本日、ここに集う私達をはじめとする水土里ネットの人々は、我が国の「環境」と「資源」を将来にわたって保全、管理、維持していくため、将来を担う若者も積極的に参画し、国民一体となって、「水」「土」「里」を守り、育み、伝えていくことを、日本近代文化の生きがけとなった、ここ長崎の地から全国に向けて高らかに宣言します。

平成二十二年十月二十六日

第三十三回全国土地改良大会 長崎大会

## 平成22年度21世紀土地改良区創造運動大賞を 「水土里ネット京都大原」が受賞 (近畿地方選考委員会ほか)

平成22年12月15日(水)、京都市上京区のルビノ京都堀川において近畿水土里ネット連合協議会(当番府:水土里ネット京都)と近畿農政局21世紀土地改良区創造運動支援連絡会議の共催により、「平成22年度21世紀土地改良区創造運動近畿地方セミナー」が開催されました。

当セミナーに先立ち、去る8月5日、21世紀土地改良区創造運動近畿地方大賞選考委員会が開催され、水土里ネット京都大原が近畿地方大賞に決定しました。続いて9月6日(月)全国水土里ネットにおいて平成22年度21世紀土地改良区創造運動大賞中央選考委員会が開催されました。中央選考委員会では、生源寺眞一東京大学大学院教授他6名の選考委員の審査により、全国8ブロックの各地方大賞13地区の中から、特に優れた運動を展開している水土里ネット8地区を21世紀土地改良区創造運動大賞として選定され、近畿ブロックから推薦されました水土里ネット京都大原が見事大賞を受賞されました。(10月26日開催の全国土地改良大会長崎大会において表彰)

当セミナーにおいては、近畿地方大賞・優秀賞を受賞された各土地改良区の表彰式のほか、岡田知弘京都大学大学院経済学研究科教授による「農山村における地域再生と地域内再投資力」、また金子照美株式会社オルタナティブコミュニケーションズ取締役副社長による「土地改良は風前の灯火?それとも空前の篝火?—20年後にむけた水土里ネットの広報活動」の講演、および近畿地方大賞受賞水土里ネットの活動事例発表が行われました。

水土里ネット京都大原の大賞への選考理由は、当水土里ネットが農業団体やNPO法人と連携した「大原里づくりトライアングル」の事務局として、大原の地域コミュニティ再生に取り組んでおり、地元小中一貫校と連携した環境教育の取組も積極的に実施している点、また地域活性化により外部から移住する若者も出てくるなど、次世代への継承に向けた成果が出つつある点が高く評価され、その特徴的な取組に対して「地域振興マイスター」という副題が付与されました。

参加の水土里ネット関係者は、21世紀土地改良区創造運動のさらなる推進のため決意を新たに、セミナーは盛会裡に終了しました。



小学校全校生徒でヒガンバナの球根を一時保護



遊休農地の再生(観光梅農園づくり)



水生生物モニタリング調査

# 水土里ネットによる会員支援事業の事例紹介

## 平成21年度の事例抜粋

### 洛西土地改良区（小規模土地改良施設適正化支援）



#### ◆目的

京都市伏見区羽東師古川地区を灌漑する古川揚水機場のポンプが老朽化により故障したため、ポンプを更新し用水量の確保を図ることを目的とする。

#### ◆内容

古川揚水機場のポンプの更新

### 亀岡市篠町土地改良区（21世紀創造運動支援）



#### ◆目的

新旧住民が農業用施設を知り、農業体験等を通じて農業の多面的機能についての認識を深めるとともに、新旧住民の交流を図ることを目的とする。

#### ◆内容

農業体験・農業用施設の学習

収穫祭

野菜販売所の開設

### 舞鶴市加佐土地改良区（21世紀創造運動支援）



#### ◆目的

地区内で生産される特産品の展示販売を通じて、地域の自然や文化の魅力を伝え、地域おこしに寄与するとともに、土地改良区の事業を紹介するパネル展示により土地改良区に対する理解増進を図ることを目的とする。

#### ◆内容

特産品（万願寺甘とうなど）の展示販売

パネル展示

### 京都市東山土地改良区（地域協働活動支援）



#### ◆目的

地域住民とともに農業用施設の保全管理などを協働して実施することにより、農地・水・環境の良好な保全とその質的向上を図り、農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図ることを目的とする。

#### ◆内容

水路・ため池の点検・補修及び清掃活動

小学生を対象に農業研修・田植え体験学習の実施

## 丹後森林農業体験教室

農業用水水源地域保全対策事業

次世代を担う子供たちを中心に、「森」と「水・土・里」の大切さを伝えるため、丹後森林農業体験教室を実施しました。当日は、京丹後市内の小学生と保護者26名の参加があり、竹の伐採作業体験や桃の収穫体験などを行い、また昼食では地元産野菜を使ったカレーライスをみんなで楽しく食べました。アンケートでは、「親子で普段体験できないことが出来て、参加して良かった」「また参加したい」など、参加者には大変好評なご意見をいただきました。



竹細工教室（竹鉄砲づくり）

実施日時：平成22年7月17日（土）  
実施場所：京丹後市丹後町徳光地内  
                  国営農地開発高山団地及び周辺の山林  
主 催 者：水土里ネット丹後、水土里ネット京都  
後 援：京都府丹後広域振興局、京丹後市



桃狩りを体験する参加者

## 水土里フェスタ2010in京都駅ビル ～知りたいな京の森と水土里～

農業用水水源地域保全対策事業

本年度も多くの府民の方々に、水源地域である森林や農地や農業用水を取り巻く現状や課題への理解を深めてもらうため、京都駅ビルから様々なイベントを通して広く情報発信を行いました。

期間中、約7,000人の方々がパネル展示をご覧になり、またイベント体験への参加もあり、啓発効果は上々でした。

実施日時：平成22年10月22日（金）～10月28日（木）  
                  10時～19時  
実施場所：京都駅ビル インフォメーション前  
主 催：水土里ネット京都、京都府森林組合連合会  
          公益社団法人京都モデルフォレスト協会  
共 催：京都市  
後 援：京都府



間伐材を活用した木工教室



学習コーナーの参加者

### 副読本「知りたいな 京の森と水土里」について

農業用水水源地域保全対策事業の啓発普及活動の一環として、京都府内の子供達に水源地域の果たす役割と農業について理解を深めてもらうため、副読本「知りたいな 京の森と水土里」を作成し、京都府内の小学校において学習教材として活用されています。今後、本年度の活用状況を確認し、副読本を増刷し、さらに啓発活動を広げていく計画としています。

# 京都府農林水産フェスティバル2010

平成22年11月27日（土）～28日（日）、京都市伏見区の京都府総合見本市会館（パルスプラザ）において、『伝統をまるごといただきます!ほんまもん京都産』をテーマに、新鮮で安心・安全な府内産農林水産物を紹介する「京都府農林水産フェスティバル2010」が開催されました。

本会では、農業農村整備の重要性と農地や「水土里ネット（土地改良区）」の役割を広く普及啓発することを目的に、「21世紀土地改良区創造運動」の活動報告と「第7回水・土・里ふるさと写真コンクール」の入賞作品の展示を行いました。



パネル展示の様子

## 「農地と水と環境を守る子ども絵画コンクール」

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会が農地・水・環境保全向上対策の啓発活動として実施した「農地と水と環境を守る子ども絵画コンクール」に府内の児童から125点の応募があり、11月1日に開催した審査委員会において入賞作品が決定し、審査委員長のNHK京都放送局奥野佳和副局長より「子どもを交えた地域の共同活動の様子が元気よく描かれていた」と講評をいただきました。

また、11月27日「京都府農林水産フェスティバル2010」のイベントステージにおいて入賞者の皆様に表彰を行いました。

### 農地と水と環境を守る子ども絵画コンクール 入賞作品

低学年以下の部

最優秀賞



朝どりいちじく

竹島奈菜子  
城陽市（小学3年）

優秀賞



さつまいも

高田也英  
南丹市白吉町（園児）



たまねぎいっぱいとれたよ  
高木理代  
福知山市（小学2年）

高学年の部

最優秀賞



田植え

原田豊美  
南丹市美山町（小学5年）

優秀賞



赤とんぼ

奥野智萌  
城陽市（小学6年）



田植え

西田明白香  
亀岡市宮前町（小学4年）

## 土地改良区役職員等研修会

平成22年12月20日（月）ルビノ京都堀川（京都市上京区）において、土地改良区役職員等研修会を開催しました。

京都府農林水産部農村振興課中林憲彦主査より「今後の土地改良区運営について～検査・指導を通して感じたこと～」と題し、土地改良区に対する検査・指導を実施した経験を踏まえ、土地改良区の運営上の留意点等について具体的な事例に基づき説明が行われました。

続いて、奈良県の五條吉野土地改良区前事務局長福本博明氏より「土地改良事業償還金並びに土地改良区賦課金の滞納処分の対応事例」と題し、滞納処分の事例にそって、方法や留意点等について説明が行われました。

参加者の土地改良区役職員からは、土地改良区運営の職責の重要性について認識を新たにすることができ、今後の運営に活かしていきたいとの感想が寄せられました。



## 事務局だより

### — 土地改良区主催の研修に講師派遣 —

亀岡西部土地改良区では毎年、土地改良区の役員、地域の自治会役員を対象に研修会を開催しています。本年度は「土地改良施設の維持管理について」の題目で、平成22年11月30日、亀岡市の「烟河」にて開催され、講師に本会から担当者を派遣しました。

研修会では、本会が従来から取り組んでいる「土地改良施設の診断指導」の事例を交え、府内の土地改良施設を紹介しながら、維持管理の重要性を講義しました。

本会は、土地改良区等会員が主催する研修会等に講師として職員を派遣していますので、要望があれば御連絡ください。

### — 農業農村整備技術強化対策事業の実施 —

平成22年度農業農村整備技術強化対策事業団体営事業支援研修会（施工技術研修）を、平成22年11月25日～11月26日京都ガーデンパレス（京都市上京区）及び近畿農政局土地改良技術事務所（京都市伏見区）で開催しました。



実習：班ごとに講義

研修会は、近畿ブロックを対象に実施したもので、近畿各府県から府県、市町、土地改良区の担当者32名の参加がありました。1日目は近畿農政局の講師により、農業水利施設の機能保全と工事での施工管理の要点について事例を交えて、分かりやすく説明をいただきました。2日目の実習では測量、コンクリート、土質試験を行いました。この研修で習得された知識や経験が、今後の業務に役立つことが期待されます。



実習：コンクリート配合試験

なお、今後、本事業では平成23年2月3日（木）～2月4日（金）に「調査計画研修」を、また2月18日（金）には「一般研修」を予定していますので、参加いただきますようお願いします。

## — 平成22年度地域農業水利施設ストックマネジメント事業の取組に係わる研修会 —

本研修会は地域農業水利施設ストックマネジメント事業の一環として、土地改良区、市町村等へ、ストックマネジメントの意義等の理解、周知を目的に本年度実施しています。

既に第1回目を実施しており、今後、第2回目、第3回目を下の日程表のとおり実施する予定としています。

第2回目では日常管理における点検、異常・変状の把握、軽微な補修などの重要性及び要点等について、第3回目では地域ストックマネジメント事業の取り組みに必要な機能保全計画を策定できるように具体例を通して啓発活動を行います。

平成22年度地域農業水利施設ストックマネジメント事業研修会 予定表

対象地域	開催日		内容	予定会場
京都・乙訓・山城	1月18日	火	水路の保全管理等	宇治市内
	1月19日	水	ポンプの保全管理等	
丹後・中丹・南丹	1月25日	火	水路の保全管理等	福知山市内
	1月26日	水	ポンプの保全管理等	
全 域	2月2日	水	ゲートの保全管理等	亀岡市内
丹後・中丹	2月15日	火	保全計画書の作成等	福知山市内
南 丹	2月16日	水	保全計画書の作成等	亀岡市内
京都市・乙訓・山城	2月17日	木	保全計画書の作成等	宇治市内

言葉では伝えられない

# 「ふるさと」の記憶



## 第8回 水・土・里ふるさと 写真コンクール

応募期間／平成23年3月25日(金)まで(当日消印有効)

 みどり  
水・土・里ネット京都

京都府土地改良事業団体連合会

〒602-8054 京都市上京区出水通御小路東入丁子尾出町104番地02 京都府庁西別館  
TEL (075)451-4137 FAX (075)414-2777  
E-mail : info@midorinet-kyoto.jp  
URL : http://www.midorinet-kyoto.jp



PR隊長 まゆまる

国内最大の文化祭典  
国民文化祭・京都2011  
平成23年10月29日(土) - 11月6日(日)  
京都府内全市町村で約70のフェスティバルを開催

文化の感動  
京 都 国 文 祭

詳しくはWebで 京都 2011

検索



© 2011 京都府土地改良事業団体連合会